

第 1 基本的事項

1 地域推進方針の名称

第二次医療圏の名称を冠し、「北海道医療計画〔根室地域推進方針〕」とします。

2 作成の趣旨

令和 6 年 3 月に道が策定した北海道医療計画（以下「道計画」という。）は令和 6 年度から 11 年度までの 6 年間を計画期間としています。

道計画の中核をなす 5 疾病・6 事業等のそれぞれの医療連携体制の構築と推進については、地域単位で保健所と市町村、医療機関、関係団体等が共に取り組む必要があることから、今般、新たな計画の策定に合わせ、根室地域の実情に応じた医療連携体制を構築し、円滑に推進するための方針（地域推進方針）を作成することとしました。

また、この方針の内容については、今後、市町村、医療機関、関係団体等で構成する根室保健医療福祉圏域連携推進会議において、目標の達成状況や施策の進捗状況の評価を定期的に行いながら、5 疾病・6 事業等それぞれに係る医療連携体制の構築と円滑な推進を行っていきます。

なお、これまで「根室圏域において不足する外来医療機能及び対応方針」については、北海道外来医療計画（道計画とは別計画）に位置付けていましたが、今回の計画見直しでは地域推進方針に新たに一章を設けて当圏域の状況を記載しています。

3 地域推進方針の期間

道計画の期間に合わせ、令和 6 年度から令和 11 年度までの 6 年間とします。

なお、道計画は、在宅医療その他必要な事項については、3 年ごとに調査、分析及び評価などを行い、必要がある場合は計画を変更するものとしていますので、地域推進方針についても同様の取扱いとします。

4 地域の現況

(1) 地勢と交通

根室管内は、北海道の最東端に位置し、北東部はオホーツク海側に知床半島、南部は太平洋に面し根室半島が突き出ており、北方領土を除いた海岸線の長さは、約 479 km と全道の約 16% を占めています（北方四島の海岸線は約 1,348 km）。

面積は、北方四島を含み約 8,500 k m² で、全道の 10.2% を占めています。北方四島を除いた面積は約

3,591 k m² と、都道府県別面積 41 位の鳥取県（約 3,507 k m²）を超えています。

気候は、根室半島及び沿岸部では海洋性気候、内陸部では大陸性気候であり、年平均気温は、5℃～7℃と冷涼な気候となっています。

オホーツク海域では、冬期間流氷に閉ざされ、厳しい寒気に見舞われるほか、春から夏にかけて海霧におおわれることが多く、霧日数は例年 90 日前後にも達します。

広大な土地に集落が散在しているため、道路は住民生活を支える上で重要な役割を担っています。（国道 6 路線 296.4 km、道道 44 路線 590.4 km、市町村道 2,520.1 km）

地域高規格道路は、北海道横断自動車道根室線（釧路市～根室市間（143km））、釧路中標津道路（釧路町～標津町・延長約 100 km）や根室中標津道路（根室市～中標津町・延長約 40 km）で整備が進められています。

鉄道は根室本線（根室～釧路間）の 1 線のみであり、管内 4 町の住民にとっ
て乗合バスが唯一の公共交通機関となっています。

【根室管内の面積】 R5.10.1 (km²)

根室振興局	8499.48	
根室市	502.65	風蓮湖を除く。
別海町	1317.17	風蓮湖を除く。
中標津町	684.87	
標津町	624.69	
羅臼町	397.72	
色丹村	250.57	
泊村	535.35	(参考値)
留夜別村	954.55	(参考値)
留別村	1442.82	(参考値)
紗那村	968.32	(参考値)
薬取村	756.61	(参考値)
風蓮湖	64.17	根室市及び別海町の面積並びに市部及び町村部の合計に含まれないが、根室振興局の合計に含まれる。
*国土地理院全国都道府県市区町村別面積調による		

また、世界自然遺産
知床の空の玄関口である
中標津空港は、東京
便 1 往復、札幌（新千
歳）便 3 往復、札幌（丘
珠）便 2 往復が毎日就
航しています。

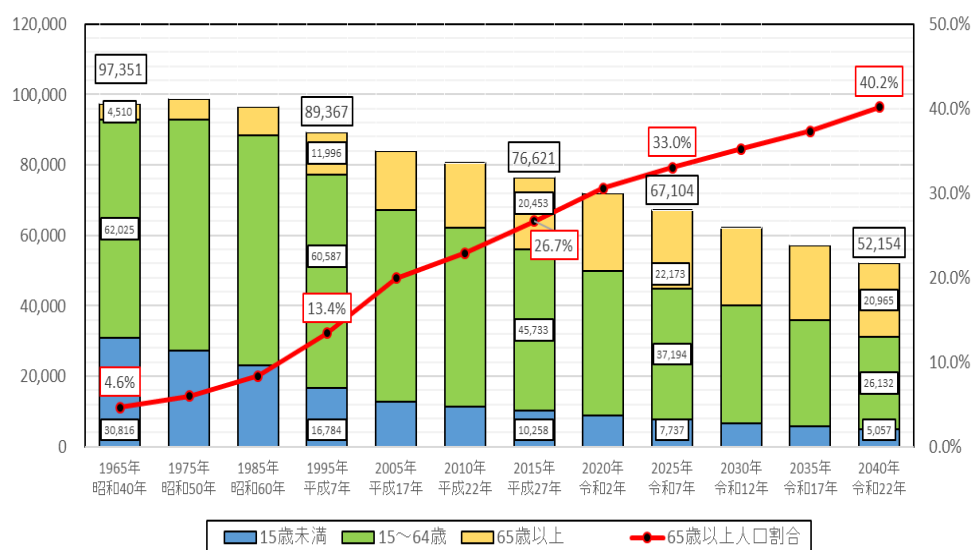
【主要都市間の距離と時間】

	距離（Km）／時間					
羅臼町	157.9	137.9	87.4	66.4	46.9	
標津町	111.2	90.5	40.7	19.6		1:00
中標津町	92.9	78.2	23.9		0:25	1:25
別海町	90.4	55.7		0:30	0:45	1:45
根室市	122.7		1:00	1:27	1:47	2:47
釧路市		2:15	1:49	1:49	2:09	3:09
	釧路市	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町

* 距離は市町村役場間の距離をMapFanWebで求めた。

（２）人口等の推移 ア 人 口

根室管内の
人口は、北洋漁
業が盛んだっ
た昭和 50 年代
をピークに減
少に転じてお
り、令和 22 年
には 52,154 人
まで人口が減
少するものと
見込まれてい
ます。



国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所による推計

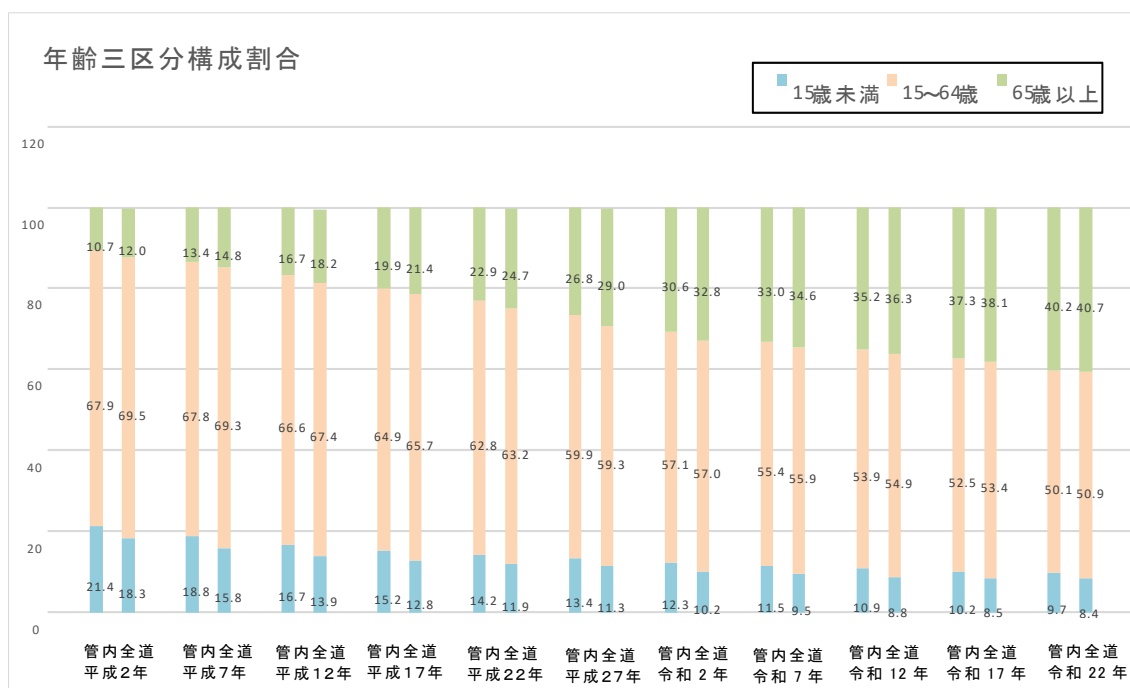
根室管内における平成 22 年と 10 年後の令和 2 年との人口を比較すると、全ての市町で減少しており、特に、羅臼町・根室市・標津町の減少率が高くなっています。

市町村名	2010年 平成22年	2020年 令和2年	増減	増減率
根室市	29,201	24,461	△ 4,740	△ 16.2
別海町	15,855	14,554	△ 1,301	△ 8.2
中標津町	23,982	23,311	△ 671	△ 2.8
標津町	5,646	4,853	△ 793	△ 14.0
羅臼町	5,885	4,824	△ 1,061	△ 18.0
根室管内	80,569	72,003	△ 8,566	△ 10.6
北海道	5,497,549	5,224,614	△ 272,935	△ 5.0

イ 年齢三区分構成割合

根室管内は、全道・全国に比べ年少人口（15 歳未満）の割合が若干高くなっていますが、今後、年少人口の割合は、少子高齢化の進行により、減少が続く見込みです。

一方、高齢者人口（65 歳以上）の割合は、平成 22 年の 22.9%が平成 27 年には 26.8%、令和 2 年には 30.6%と増加の一途を辿り、令和 22 年には 40.2%と推計されるものの、全道平均（40.7%）を若干下回ることが推測されます。



* 国立社会保障・人口問題研究所の「日本の都道府県別将来推計人口」（平成 28 年 3 月推計）及び総務省国勢調査結果による

ウ 世帯数

根室管内の一般世帯数は、令和 2 年度の国勢調査で 31,905 世帯でした。構成割合は、単独世帯が 37.1% (11,836 世帯)、夫婦のみの世帯が 23.8% (7,583 世帯) などとなっており、平成 27 年度と比べ単独世帯が世帯数、割合ともに増加した一方、夫婦のみの世帯に関しては世帯数は減少、割合はほぼ変化無しとなっています。

なお、65 歳以上の世帯に関しては、単独世帯及び夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみ世帯の合計が 8,386 世帯で世帯全体の 26.3%を占めています。また、3 世代世帯は 1,659 世帯で 5.2%となっています。

(3) 人口動態

ア 出生率

平成 20 年以降の出生率（人口千人対）を 5 年ごとに集計した値（人口動態保健所・市区町村別統計）によると、管内全市町で減少傾向にあります。令和 4 年 12 月 31 日時点における直近 5 カ年の値は別海町、中標津町、標津町が全道値を上回る一方、根室市と羅臼町が下回っています。

一方、直近 5 カ年の合計特殊出生率は減少傾向にありながら、全市町とも全国・全道値を上回っています。

【出生率の推移】		(人口千人対)						
		全国	全道	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町
平成20年～平成24年		8.4	7.3	6.9	10.4	10.1	7.5	8.2
平成25年～平成29年		7.9	6.8	6.9	8.6	8.4	7.8	6.5
平成30年～令和4年		6.8	5.7	5.0	7.0	7.0	6.8	4.6
※人口動態保健所・市区町村別統計による								
【合計特殊出生率の推移】								
		全国	全道	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町
平成20年～平成24年		1.38	1.25	1.53	1.86	1.63	1.42	1.72
平成25年～平成29年		1.43	1.30	1.67	1.74	1.58	1.68	1.50
平成30年～令和4年		1.33	1.21	1.36	1.64	1.49	1.57	1.30
※人口動態保健所・市区町村別統計による								

* 1＜合計特殊出生率とは＞

- ・一人の女子が生涯に産む子供の数に近似する指標です。
(統計上は、出産可能な年齢を 15 歳から 49 歳までとしています。)

イ 死亡率

同じく死亡率（人口千人対）について平成 20 年以降 5 年ごとの集計値を見ると、常に根室市と標津町、羅臼町が全国・全道値を上回っています。

【死亡率の推移】		(人口千人対)						
		全国	全道	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町
平成20年～平成24年		9.5	10.1	11.2	10.4	7.8	11.5	9.9
平成25年～平成29年		10.3	11.4	13.3	10.0	9.3	13.9	12.4
平成30年～令和4年		11.5	13.0	15.8	12.2	10.3	13.5	14.5
※人口動態保健所・市区町村別統計による								

なお、令和 3 年度の管内全体の死因は 1 位悪性新生物、2 位心疾患、3 位老衰、4 位脳血管疾患、5 位肺炎となっており、全国・全道と同じ傾向を示しています。

主な死因の割合（令和3年度）										（人口千人対）	
		悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺	その他	合計
全国	男	30.1	14.0	7.0	5.7	2.0	5.6	3.0	1.8	30.8	100.0
	女	22.7	15.8	7.6	4.4	1.9	15.8	2.3	1.0	28.5	100.0
全道	男	32.9	13.1	6.6	5.7	2.5	4.3	2.8	1.7	30.4	100.0
	女	25.5	15.4	7.2	4.2	2.6	12.3	2.3	1.0	29.5	100.0
根室市	男	27.4	14.0	7.3	7.8	5.6	1.7	3.4	2.2	30.6	100.0
	女	26.0	18.4	3.1	6.3	4.9	9.9	1.8	0.9	28.7	100.0
北部4町	男	31.6	15.6	6.7	4.6	2.1	5.7	3.2	3.2	27.3	100.0
	女	28.7	18.0	8.8	3.4	1.1	14.2	1.1	0.4	24.3	100.0
根室管内	男	29.9	15.0	6.9	5.9	3.5	4.1	3.3	2.8	28.6	100.0
	女	27.5	18.2	6.2	4.8	2.9	12.2	1.4	0.6	26.2	100.0
※地域保健情報年報による											

ウ 平均寿命

根室管内の各市町の平均寿命は、全道・全国値と大きな差はありませんが、男性・女性とも全道・全国の数値を下回っています。

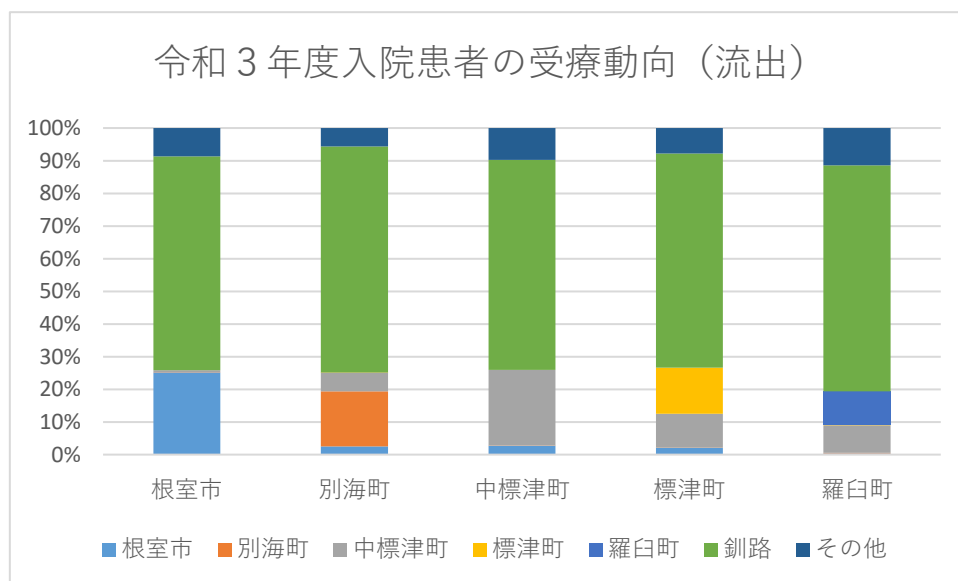
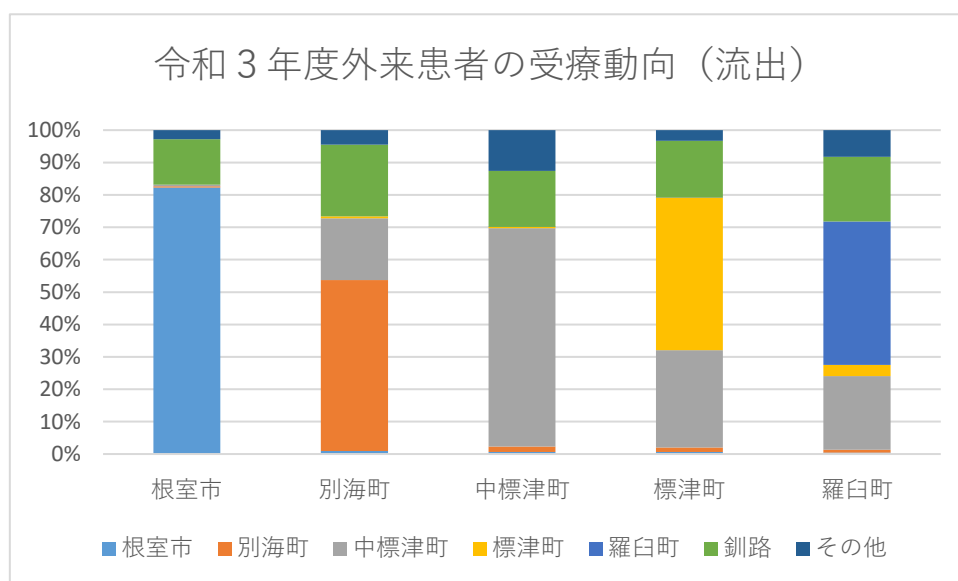
【平均寿命（令和 2 年）の状況】					(歳)		
	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町	全道	全国
男 性	80.0	80.9	81.2	80.5	80.3	80.9	81.5
女 性	86.4	85.8	86.9	87.0	86.8	87.1	87.6
※令和 2 年市区町村別生命表							

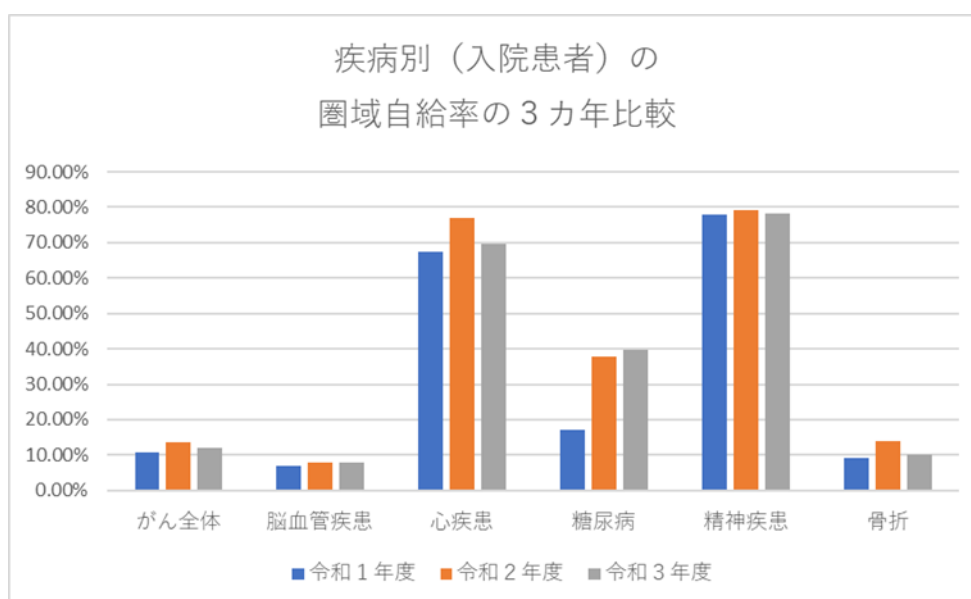
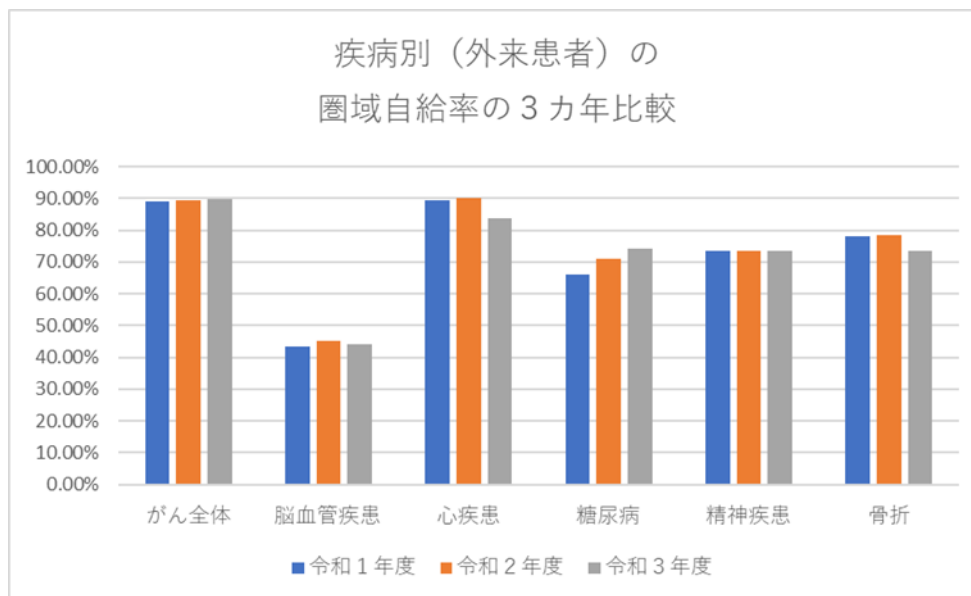
(4) 患者の受療動向

令和3年度の受療動向は、通院に関しては、76.9%の患者が根室管内で受診しているのに対し、釧路管内での受診は17.1%となっています。

一方、入院については、根室管内の自給率は25.3%で、66.3%の患者が釧路管内で受療しており、過去のデータと比較すると、釧路圏への依存度が高まっている状況です。

疾病別では、がん全体の85.3%、骨折の86.2%、脳血管疾患の77.6%が釧路管内で受診しています。





（５）医療施設・医療従事者の推移

ア 医療施設等の状況

根室管内の病院数は、最近10年間は横ばい、病床数は減少傾向にあり、令和5年4月1日現在では、7施設、702床となっています。

一般診療所数は、最近10年間は減少傾向にあり、令和5年4月1日現在で24施設となっています。

歯科診療所数も、最近10年間は減少傾向にあり、令和5年4月1日現在で24施設となっています。

薬局数は、最近 10 年間は横ばいの傾向にあり、令和 5 年 3 月末現在で 26 施設となっています。

【医療施設等の推移】		(施設)																	
		病 院								診 療 所						歯科 診療所 数	薬局数	助 産 所	
		病院数	病床数	一般	療養	精神	結核	伝染病 (感染症)	診療所数	有床	病床数	一般	療養	無床	助産所数			入所定員	
根室管内	平成15年	9	1,000	513	262	225	0	0	29	115	115			32	26	2	7		
	平成20年	7	868	513	139	216	0	0	27	6	83	83	0	21	32	27	3	7	
	平成25年	7	789	430	139	216	0	4	29	4	47	47	0	25	32	26	2	0	
	平成30年	7	789	430	139	216	0	4	27	3	28	28	0	24	29	26	2	0	
	令和 5 年	7	702	423	60	215	0	4	24	2	17	17	0	22	24	26	2	0	
根室市	平成15年	4	499	199	75	225	0	0	13	73	73			13	10	0	0		
	平成20年	3	415	199	0	216	0	0	10	3	50	50	0	7	13	10	0	0	
	平成25年	3	351	131	0	216	0	4	10	1	19	19	0	9	13	9	0	0	
	平成30年	3	351	131	0	216	0	4	9	0	0	0	0	9	12	10	0	0	
	令和 5 年	3	350	131	0	215	0	4	8	0	0	0	0	8	8	9	0	0	
北部 4 町	平成15年	5	501	314	187	0	0	0	16	42	42			19	16	2	7		
	平成20年	4	453	314	139	0	0	0	17	3	33	33	0	14	19	17	3	7	
	平成25年	4	438	299	139	0	0	0	19	3	28	28	0	16	19	17	2	0	
	平成30年	4	438	299	139	0	0	0	18	3	28	28	0	15	17	16	2	0	
	令和 5 年	4	352	292	60	0	0	0	16	2	17	17	0	14	16	17	2	0	

※釧路根室地域保健情報年報及び保健所調べ。毎年4月1日現在。(薬局のみ3月31日現在)

※釧路根室地域保健情報年報及び保健所調べ。毎年 4 月 1 日現在。(薬局のみ 3 月 31 日現在)

イ 医師の状況

根室管内における令和 2 年の人口 10 万人当たり医師数は 98.9 人と全道値 (251.3 人) の半分以下、全二次医療圏域中最下位となっています。

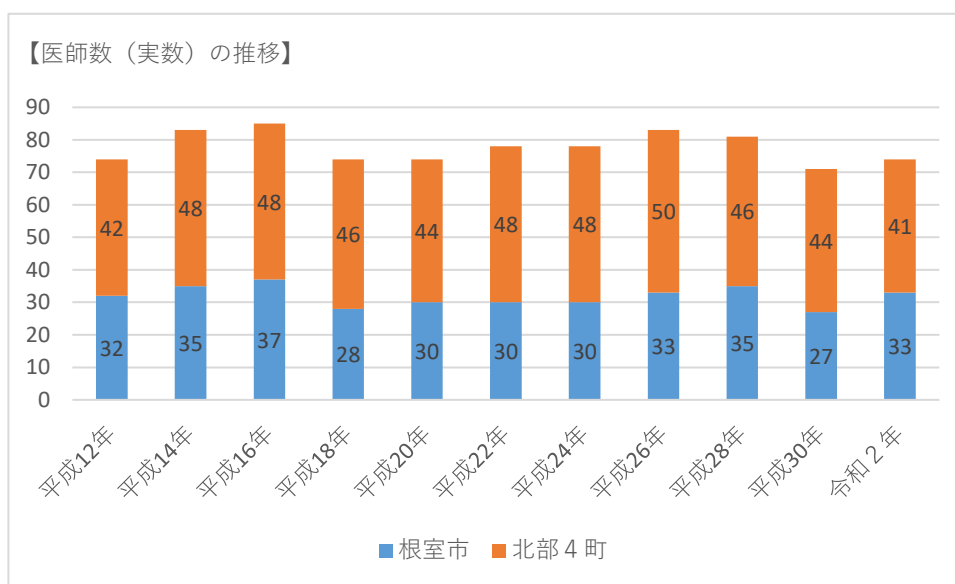
都市部と地方間の医師の偏在は依然解消されておらず、国が算出した医師偏在指標に基づき、令和 6 年 4 月 1 日現在、根室圏域は「医師少数区域」に設定されています。

※医師偏在指数

- ・ 全国 330 二次医療圏ごとに医師偏在指数を算定
- ・ 全国値 255.6 北海道 233.8 (「医師中間都道府県」の位置付け)
根室圏域 116.6 (道内順位 20 位、全国順位 327 位)

慢性的な医師不足の下、根室管内では北海道医療対策協議会を通じた医師派遣や地域枠医師の派遣、札幌医科大学や旭川医科大学に設置された地域医療支援センターからの医師派遣、個々の病院による医師の個人招へいなどにより地域の医療が支えられている状況ですが、診療科によっては休診又は縮小となるなど、その診療体制の維持に支障を来す場合もあります。

根室管内において、安定的に医療を提供し、医療計画に基づく医療連携の構築を進めていくためには、引き続き医師不足の解消に向けた取組が課題といえます。



ウ 医師以外の医療従事者の状況

（歯科医師）

根室管内の令和2年の人口10万人当たり歯科医師数は41.8人と全道平均（84.6人）のほぼ5割となっています。

（薬剤師）

根室管内の令和2年の人口10万当たり薬剤師数は100.3人と全道平均（225.9人）の約4割強となっており、全道で最も薬剤師の少ない圏域となっています。

（看護師、准看護師）

根室管内の令和4年末の人口10万人当たり看護師数（常勤換算）は600.8人で全道平均（1,214.3人）の49.5%、准看護師（常勤換算）については181.0人で全道平均（224.7人）の80.6%、看護師・准看護師の合計では全道1,438.9人に対し54.3%と全道平均を大きく下回る状況となっています。

根室管内では他職種と同様、看護師も地域偏在により慢性的な人材不足が続いており、地域センター病院である市立根室病院、町立中標津病院における一部休床の原因ともなっています。また、就業者に占める若年層の割合が減少傾向にあり、看護職員の高齢化がみられるところです。

医療資源が潤沢ではない根室管内において、今後も安定的に医療を提供し続けるためには、医師同様看護師についても、新たな雇用や離職防止などを通じた人材の確保が喫緊の課題となっています。

（保健師、助産師）

保健師、助産師については、北部4町の従事者が多いため、根室管内としては全道平均を上回っています（保健師：全道59.6に対し79.6、助産

師：全道 28.5 に対し 32.9）。

5 住民の健康

（１）生活習慣の状況

（喫煙の状況）

喫煙者割合の標準化該当比*（以下「該当比」という。）は、全道保健所設置地域（30 地域）の中で、根室地域が男性 125.6 で 1 位、女性 182.4 で 5 位と、高い状況が続いています。

一方、中標津地域は、男性 103.1 で 23 位、女性 128.6 で 25 位と、男女とも全道では低い方ですが、全国値との比較では高い比率となっています。

喫煙者割合（地域別）					
保健所設置地域	該当比（男）	全道順位	該当比（女）	全道順位	
根室	125.6	1	182.4	5	
中標津	103.1	23	128.6	25	

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

喫煙者割合（市町別）		
市町名	該当比（男）	該当比（女）
根室市	125.6	182.4
別海町	102.2	111.9
中標津町	102.9	150.9
標津町	85.3	131.1
羅臼町	122.2	104.8

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

＊ 標準化該当比の算定について

対象者の年齢構成の違いを補正するために、全国のデータを基準集団として標準化該当比（「該当比」）を算出。該当比は、当該市町村の当該項目の該当者の観察数を当該市町村の当該項目の該当者の期待数で割った値を100倍した値である。

該当者の観察数（以下「該当者数」という。）とは、当該市町村の当該項目の異常者の人数です。

該当者の期待数（以下「期待者数」という。）は、当該市町村の当該項目の年齢階級別受診者数に、基準集団である全国の当該項目の年齢階級別の異常者の出現割合をかけて合計した数です。

$$\text{該当数} : 100 = \frac{\text{該当市町村の異常者数}}{\text{全国標準（年齢補正を実施）～期待者数}}$$

該当市町村の異常者数
全国データを基に年齢階層別の異常者の出現割合を算出し、当該市町村の年齢階層別人口にその出現割合を乗じて、全国基準の異常者数を算出

- ・ 該当比が100より大きい場合には、当該市町村の当該項目の異常者の出現割合は、全国よりも高いことを示し、100よりも小さい場合には、全国より低いことを示しています。

（２）生活習慣病の有病者・予備群の数等

ア 高血圧の状況

根室地域の収縮期血圧異常者割合（収縮期血圧 130mmHg 以上）の該当比は、男性が 120.9 で 3 位、女性が 127.5 で 1 位と、男女ともに全国値を上回り、全道で最も高い順位となっています。

一方、中標津地域は、男性が 93.8 で 28 位、女性が 98.6 で 23 位と、男女とも全国値を下回り、全道でも低い方に位置しています。

また、降圧剤を服用中の者の割合については、根室地域の女性が 124.8 で 4 位と高い一方、中標津地域の男性が 90.8 で 30 位と、全道で最も低い割合となっています。

収縮期血圧異常者割合（地域別）					
保健所設置地域	該当比（男）	全道順位	該当比（女）	全道順位	
根室	120.9	3	127.5	1	
中標津	93.8	28	98.6	23	

・ 令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

収縮期血圧異常者割合（市町別）		
市町名	該当比（男）	該当比（女）
根室市	120.9	127.5
別海町	88.6	95.2
中標津町	99.5	96.5
標津町	78.7	117.0
羅臼町	106.2	96.7

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

降圧剤服用者割合（地域別）					
保健所設置地域	該当比（男）	全道順位	該当比（女）	全道順位	
根室	98.3	22	124.8	4	
中標津	90.8	30	103.5	21	

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

降圧剤服用者割合（市町別）		
市町名	該当比（男）	該当比（女）
根室市	98.3	124.8
別海町	95.9	100.7
中標津町	93.5	95.4
標津町	96.3	122.3
羅臼町	56.2	126.3

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

イ 脂質異常の状況

根室地域、中標津地域は男女とも HDL 異常（HDL コレステロール 40mg/dl 未満）の該当比が全国値を下回っており、特に中標津地域の男性については 59.9 で 28 位と、有意に低い割合となっています。

HDL異常者割合（地域別）					
保健所設置地域	該当比（男）	全道順位	該当比（女）	全道順位	
根室	92.8	18	89.1	20	
中標津	59.9	28	71.7	24	

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

HDL異常者割合（市町別）		
市町名	該当比（男）	該当比（女）
根室市	92.8	89.1
別海町	61.0	60.0
中標津町	69.9	60.3
標津町	45.9	123.6
羅臼町	37.8	103.3
・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書		

p

ウ 糖尿病の状況

根室地域の空腹時血糖異常(100mg/dl 以上)の該当比については、男性が111.0、女性が117.1と、共に有意に高い割合となっています。

一方、中標津地域は、全国値と比べ男性が95.6で若干低く、女性が107.5で若干高めとなっています。

空腹時血糖異常者割合（地域別）					
保健所設置地域	該当比（男）	全道順位	該当比（女）	全道順位	
根室	111.0	4	117.1	10	
中標津	95.6	22	107.5	18	
・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書					

空腹時血糖異常者割合（市町別）		
市町名	該当比（男）	該当比（女）
根室市	111.0	112.7
別海町	98.4	108.2
中標津町	106.3	112.5
標津町	86.5	87.7
羅臼町	61.4	60.0
・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書		

エ 肥満の状況

根室地域、中標津地域の肥満者の該当比は、男性、女性とも全国値を上回り、全道でも高い順位となっています。

肥満者割合（地域別）					
保健所設置地域	該当比（男）	全道順位	該当比（女）	全道順位	
根室	122.2	6	135.7	4	
中標津	123.1	7	126.3	7	

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

肥満者割合（市町別）		
市町名	該当比（男）	該当比（女）
根室市	122.2	135.7
別海町	129.6	140.2
中標津町	114.1	113.8
標津町	125.5	140.6
羅臼町	130.5	99.1

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

オ メタボリック症候群*1 の状況

メタボリック症候群*1 の該当比については、根室地域の男性が全国値を上回り、順位は高めですが、根室地域の女性、中標津地域の男性の割合が全国値と比べ有意に低く、全道でも低い順位となっています。

メタボリック症候群割合（地域別）					
保健所設置地域	該当比（男）	全道順位	該当比（女）	全道順位	
根室	109.3	8	73.7	30	
中標津	89.4	29	89.2	23	

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

メタボリック症候群割合（市町別）		
市町名	該当比（男）	該当比（女）
根室市	109.3	73.7
別海町	100.5	87.3
中標津町	98.9	68.7
標津町	66.3	135.3
羅臼町	46.9	125.1

・令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書

***1＜メタボリック症候群とは＞**
・内臓に蓄積した脂肪により男性が85センチ以上、女性は90センチ以上であるうえ、脂質異常や高血圧、高血糖のうち2つ以上が当てはまる状態。

令和2年度北海道健康増進計画指標調査事業報告書について

・目的

市町村国保と協会けんぽの特定健診、問診票のデータなどから、市町村と2次保健医療福祉圏域における特定健診での検査項目の異常割合、生活習慣病による死亡とその関連要因を分析し、道内の各地域の健康上の課題の明確化を図ることを目的とする。

・集計対象データ

40歳から74歳までの市町村国保及び協会けんぽの特定健診結果と問診票のデータが主たる集計対象（563,528人のデータ）

・検査項目

特定健診と問診票から抽出して使用した項目は、喫煙の有無、収縮期血圧、降圧剤の使用の有無、HDLコレステロール、空腹時血糖値、BMI、メタボリック症候群等の11項目。

・指標

全国標準を100とした場合の割合とし（以下「指標」という）、各市区町村の指標を男女別に算出。また、保健所設置の30地域ごとに分類したデータも集計した。

異常者の割合の呼称と異常の判定基準

異常者の割合の呼称	異常の判定基準
収縮期血圧異常者割合	収縮期血圧が130mmHg以上
降圧剤服用者割合	降圧剤を服用の者
HDL異常者割合	HDLコレステロールが40mg/dl未満
空腹時血糖異常者割合	空腹時の血糖が100mg/dl以上
肥満	BMIが25以上
メタボリック症候群割合	メタボリック症候群の該当